日本とインドネシアにおける禁止表現比較
—金沢市とバンドン市の公的表示看板を例に—

ムティ・アフィファー
金沢大学大学院　博士後期課程

1.　はじめに

グローバル化の進行にともない, 言語景観が多様になってきた．その変化の傾向に関する研究が, 社会言語学, 経済言語学, 地理言語学など様々な観点から行われるようになってきている．しかし, そういった言語景観に関する研究のほとんどは, 看板表記に何語が使用されているのか, あるいはどのような種類の文字表記が用いられているのかといった, 主に「多言語表示」という観点からの考察に留まり, 看板がその目的とする機能とその表現形式との関係を考察する研究がほとんど見られない．そこで, このような看板機能と表現との関係を調べるために, 本研究では言語景観の中でも特に頻繁に目にする禁止看板に焦点を当て, その禁止機能とその表現との関係を分析することにする．禁止看板について, 岸江（2011）は「これらの禁止看板には, その効果をねらって, 色々な工夫が凝らされているものである」と述べている．たしかに「駐車禁止」のような直接的な表現を使用するものだけでなく,「駐車はご遠慮ください」などの間接的な表現を用いることもあり, バリエーションが認められる．では, どのような場面で, どのような表現が使われる傾向にあるのだろうか．両者の関係には言語や文化による差異があるのだろうか．このような問題意識から, 本研究では, 日本の中核都市の 1 つである金沢市とインドネシアの中核都市の 1 つであるバンドン市で見られる対応する禁止看板のデータを収集し, 両社会の対応する場面に設置されている禁止表現の類似点と相違点を明らかにすることを目標とする.

2.　調査方法

データを収集するために, 筆者が調査地域に行き, 対象となる看板, ポスターなどをデジタル・カメラで撮影する．調査対象は, 禁止を求める看板, ポスター, 張り紙などである．調査対象のデータの数え方として, 1 つの調査地域に全く同じ内容の禁止看板やポスターなどが 1 つ以上存在する場合, それを 1 つとして, つまり, 異なり数で数える．調査地域は, 金沢市とバンドン市である．両市の交通機関関係場所（駅, バスターミナル）, 観光地, 商業地という 3 つの場所で禁止サインの写真データを収集した.

3.　結果と分析

金沢市とバンドン市で,それぞれ 262 件と 141 件の禁止サインのデータが収集できた．全ての禁止サインは, 全て否定的な命令機能を持つ．しかし,禁止サインは,それが設置される場により「いつ」「どこで」「誰に」「何を」「なぜ」「どのように」禁じるのかが変化するため, 多様な表現が使用され,否定的な命令表現（禁止表現）以外の形をとるものも見られた.

3.1.　禁止サインの表現の形

それぞれの調査地域のデータに見られる禁止サインにいかなる表現形式が使用されているかを分析した結果,金沢市では「情報提供」「命令」「否定」という 3 つの表現形式が使用されている.それに対して,バンソン市では,「情報提供」「命令」「感謝」という表現形式が使用されている.それらの表現形をとる禁止サインはいかなるものか,以下の表 1 と表 2 にまとめた.

表 1．金沢市における禁止サインで使用されている表現形式の分類

	表現形式		例文
	提 情 供 報	～厳禁	<u>無断駐車厳禁</u> 無断駐車の場合は一ヶ月の駐車料金をいただきます

禁止を要求する		～禁止	無断駐車禁止　駐車の際は警備員まで
		～禁止（場所）	ひがし茶屋街周辺は「ぽい捨て等防止重点区域」です 違反した方は過料料せられる場合があります
		～禁ずる	外部者の無断立入を禁ずる
		～禁じます	当館ご利用以外の方の駐車を固く禁じます
		～禁止です	販売勧誘などの行為は禁止です
		～禁止します	スケートボードなどは禁止します
		～します	この先、午後 6 時以降閉鎖します
		～です	ふんの後始末は飼い主の責任です
		～体言止め	快適で美しいまちづくり
		～出来ません	これより先には入れません
		～制限	道路等の公共の場所での喫煙は制限
		～と危険です	ドアに触ると危険です
		～ではありません	こちらの駐車場は当店の駐車場ではありません
		～必要ありません	チップは必要ありません
		～罰せれることがあります	チラシの配布、呼び込みなどの営業行為は、 許可なくすると罰せられることがあります
		～は罰金として頂きます	無断駐車は罰金として 2 万円いただきます
		～は許しません	客引き行為は許しません
	命令	～なし	注意！駆け込まない！立ち止まらない！
		～ないこと	危険　手すりから体を乗り出さないこと　手すりの上に乗らないこと　逆向きに乗らないこと　けがをする恐れがあります
		～ないで	清掃中危険！ホースをまたがないで
		～ないでね	熱い　触らないでね
		～ないでください	石垣に登らないでください
		～な！	のるな！
		～でね	クツはぬいでね
		～ご遠慮下さい	展示室に長傘（日傘を含む）のお持ち込みはご遠慮ください
		～ご遠慮願います	お願い　犬猫などのペットの持ち込み、自転車の乗り入れ、定められた場所以外での喫煙はご遠慮願います
		～ご協力下さい	館内では地図・資料スタンプ以外手をお触れにならないよう、ご協力ください
		①　～お願いします	お願い　当店では試食は一切しておりません マナーを守って下さるようお願いいたします
		②　～下さい	自転車は降りて通行してください
		③　～よう	やめよう　ゴミ出しのルール違反
	拒否	①　～お断りします	ご来店以外の駐車はかたくお断りします
		②　～ご遠慮いただいております	この入口からの関係者以外の立入はご遠慮いただいております

表 2. バンドン市における禁止サインで使用されている表現形式の分類

	表現形式		例文
禁止を要求する	情報提供	① 受け身動詞「Dilarang」（接頭辞 di+動詞 larang）＋動詞	**DILARANG** MEMBAWA HEWAN PELIHARAAN ペット持ち入り禁止
		② 否定の副詞「Tidak」＋動詞	TIDAK DUDUK DI TANGGA ESKALATOR エスカレーターに座らない
		③ 否定を表す副詞「Bukan」＋名詞	**BUKAN** JALAN UMUM 公的道ではない
		④ Ø＋情報提供文	BATAS TROLY DI SINI ここはトロリーのリミットです
		⑤ 注意を要求する副詞「Hati- hati」＋名詞	**HATI- HATI PALANG** OTOMATIS 自動バリアゲートに気を付ける
	命令	① 副詞「Jangan/Tidak boleh」＋基本命令文（述語＋目的語）	WARNING! **JANGAN** MEMBUANG SAMPAH DI SINI! OK! 警告！ここでゴミを捨てないで！オッケー！
		② 動詞「Mohon/harap/tolong」＋否定を表す副詞「Tidak」＋動詞	**MOHON TIDAK** MEMBERI TIPS ATAU DONASI KEPADA PEMANDU ガイドの人にチップ又は寄附金を上げないようにお願いします
		③ 動詞「Stop」＋動詞/名詞	YANG BERAKAL PILIH YANG LEGAL. STOP!!! PEMBELIAN 知恵のある（人）は適法な（もの）を選ぶ。ストップ！！違法タバコの購入
		① 基本命令（述語＋目的語）	BUANG SAMPAH PADA TEMPATNYA ゴミをゴミ捨て場所に捨てて！
		② 副詞「Mohon/ Harap/ Tolong」＋動詞	MAAF, SANDAL/ SEPATU **HARAP** DILEPAS すみません、靴を脱ぐよう期待します。
		③ 述語＋接尾辞 lah＋目的語	**JAGALAH** KEBERSIHAN RUANGAN INI この部屋の清潔さを守って下さい！
	感謝	① 感謝を表す名詞「Terimakasih」＋副詞＋動詞	**TERIMAKASIH** UNTUK MENJAGA TEMPAT INI TETAP BERSIH この場所の清潔さを保ち、ありがとうございます。

金沢市とバンドン市に見られるそれぞれの表現形式を比較すると,金沢市では「情報提供」（127 件）と「命令」（121 件）の表現の表現形をとる禁止サインが最も多い一方,バンドン市では「情報提供」（105 件）の表現形をとるものが最も多く,命令の表現形をとるものは数少ない（31 件）.また,金沢市には否定の表現形をとるものが 14 件出ているが,バンドン市では否定の表現形式を使用する禁止サインはデータの中には見あたらない.そして,感謝の表現形式をとる禁止サインはバンドン市で 5 件見られるのに対して,金沢市のデータには見られない.否定の表現形式をとるものは本研究のデータでは金沢市にしか見られなく,感謝の表現の形をとるものはバンドン市にしか見られなかった.

3.2. 禁止サインの「直接性」と「間接性」

既述のように, 禁止サインが設置される場により「いつ」「どこで」「誰に」「何を」「なぜ」「どのように」禁じるのかが変化する. そのため, 「～禁止」「～厳禁」「～な！」「～しないで下さい」等の直接的に禁止を要求する表現を使用する禁止サインが存在する一方, 観光地や商業地では客に対してある行為を制限する場合は, 不快感を与えないように, 間接的な表現を使用する禁止サインも見られる. 例えば日本語の場合は, 「靴は脱いでね」や「展示室に長傘の持込はご遠慮下さい」等がデータの中から見られる. 金沢市とバンドン

市の禁止サインの「直接的表現」と「間接的表現」の使用件数を比較すると, 金沢市が 58％と 42％,バンドン市が 63.8％と 36.2％であり,両者に大きな違いは見られない.そこで、金沢市とバンドン市における禁止サインの使用表現形式ごとの「直接的表現」と「間接的表現」の割合を以下の表 3 と表 4 にまとめた.

表 3. 金沢市における禁止サインの表現形式ごとの「直接的表現」と「間接的表現」の割合

表現形式					
情報提供（計 127 件）		命令（計 121 件）		拒否（計 14 件）	
直接的	間接的	直接的	間接的	直接的	間接的
97 件 （76%）	30 件 （24%）	54 件 （44.6%）	67 件 （55.4%）	1 件 （7.1%）	13 件 （92.9%）

表 4. バンドン市における禁止サインの表現形式ごとの「直接的表現」と「間接的表現」の割合

表現形式				
情報提供（計 105 件）		命令（計 31 件）		感謝（計 5 件）
直接的	間接的	直接的	間接的	間接的
82 件 （78.1%）	23 件 （21.9%）	9 件 （29.1%）	22 件 （71.9%）	5 件 （100%）

上の表 3 と表 4 を比較すると,金沢市とバンドン市のいずれも「情報提供」の表現形式を使用する場合は,「間接的表現」より「直接的表現」を使用する傾向が見られる.その一方,金沢市では命令の表現形式の「直接的表現」と「間接的表現」を使用する禁止サインにはわずかな違いしか見られない.それに対して,バンドン市の場合は,命令表現の形式をとるものは「直接的表現」より「間接的表現」の方が多い.金沢市のデータでしか見られない否定の表現形式は間接的な表現を使用するものが直接的な表現を使用するものに比べて極端に多い.そして,バンドン市のデータにしか見られない感謝の表現形式をとるものは全て間接的な表現となっている.

4. まとめ

「情報提供」と「命令」の形式は金沢市とバンドン市のいずれにもその使用が認められたが,「拒否」の形式は金沢市にしか見られず,「感謝」の形式はバンドン市にしか見られなかった. また、金沢市では「情報提供」と「命令」の出現割合がほぼ変わらないが, バンドン市では「情報提供」の使用が 7 割以上を占め, 他の表現形式の使用割合に比べて著しく高い. さらに, 表現内容の明示性については, 全体から見ると, 金沢市とバンドン市のいずれにおいても直接的な表現の方が多いが, バンドン市の方が直接的な表現が若干多い. また, 各表現形式から見ると, 金沢市とバンドン市のいずれにおいても「情報提供」形式をとる場合は, 分かりやすい間接的表現が多く使用されるが,「命令」形式をとる場合は, 読み手に不快感を与えるのを避けるために婉曲的な間接的表現が多用される傾向にあるようだ.

参考文献

岸江信介（2011）「看板・標示物にみられる禁止表現の言語景観」内山純蔵監修, 中井精一, ダニエル・ロング編『世界の言語景観 日本の言語景観―景色のなかのことば』桂書房, pp.218―226.